

平成 21 年 5 月 1 日発行  
第 140 号

# 康寿診報

編集 / 発行 医療法人社団 康寿会 加藤内科医院

〒421-0301 静岡県榛原郡吉田町住吉 303-1

Tel: (0548)32-0701 緊急用:090-1758-1712 Fax: (0548)32-1280

## 「今、私が後悔すること、半世紀生きるまでの残り 1 年と 8 か月」

“質”を考え、毅然とした言動、後退せぬ責任 その

日本の政党のトップは、シッポ切りをして、生き永らえようとしたが収まらない。老獺で命長らえる為に余りにも泳ぐのが上手である。地方自治も同じか？ 結論から言うと、この繰返しをしてきた地方自治のトップは、いくら許そうとしても「過去の否を認めて、次の行動へ移る」その姿勢を示さなければ、私個人としては、肯定することは出来ない。不可能である。

これ以上、自分を抑えることには、限界を感じる。そんな今日この頃である。

昨年末から、余りにも多くのことが自分の周りに起こる。真っ当に生きようとしたら許せないことばかりである。時代、政治、...、...が悪いといっていたら限がない。100年に一度と現実から逃避し回避すべきではない。「テロ的行為は司法の手に委ねれば」と、多くの方にアドバイスされたが、「The Bank」の映画が物語るように、司法では自分の考える本筋の方向性と解決は見い出せない。自分で解決する道を己が築く。それには「一つひとつにけりをつけ、次に挑む」しかない。

あの頃、もう少し勇気と力があり、一年前 相手を更生する力があつたら「今が違っていたかな?」と後悔することがある[康寿診報第128・129号P1、本号P2,3参照]。とは言うものの、当時の自分は、その時の100%で、真っ直ぐ限界走行であったとも振り返る。「言い方が悪い」「嘯み付き亀に成るな」と、榛北の先輩の先生に助言されたこともある。その通りと思える部分は存在したが、本気だった。しかし、今 違う自分が存在している。メジャー チャンジはしていないが、マイナー チャンジを繰返してきた自分。「ずるくなった」とも「要領良くなった」とも言える。あの頃、数年前の自分はいない。もっと言うと、一日前の自分が存在しない。それ程、周囲から決して気持ち良いとはいえない

刺激が与えられ、何者かに導かれてきたように思える。怒号に慣れて怯えて引く必要は無く、狼少年に対する「处世を正攻法で身に付ける」べく、努力している。最近 仮眠中、夢の中に 天国のお袋 雅子さんが出てくる。そして「凡てを許せ 寿夫...」と何度も囁いていく。「そうする」と納得した。その手段として、相手が誠意を示し行動出来る方向性 この地盤創りが出来る器を持つこと。ただし「テロ的行為には 一度は懺悔を相手に求めること」は必要不可欠。その上で己の心の整理が可能となれば、相手のこの先をも考える度量が芽生える。自分の怒り・気持ちの更生には、自己を統制する忍耐が必要である。冷静にじっくり「考えた上で、エネルギー配分を整えて」「疲れている・病んでいる、しかしこれが自分の原点」。悩んでいなければ、成長も無い。大切なのは 人間対人間の関係。すべてはここから始まる。信頼関係の回復が必要不可欠である。

何度となくアポイントを願っても、受け付けない相手。何より時間が無い、たとえ怒号の繰返しであっても、今 伝えるべきことがある。「『奴は逃げる』ことが結果」であっても、今 出来ることを、限られた時間で最大限にする。これが次の「数カ月後『放り出され残される者』の布石」となる。

まずは、榛南地区の医師団が志高く「脱病院化の先進地区」として前向きに捉える気概を持つべきである。形が見えてくるまで、我々の成すべき業は最低でも3年5年、期間は掛かるのであろう。しかしこれが整えられたら、つぎのステップが見えてくる。地域住民 患者さんの心構えが定まれば、真っ向から一つひとつの事を成していけば「医師冥利に尽きる地域社会」が自然と芽生えてくると考える。

加藤寿夫

本ページは 吉田町長 田村典彦氏に閲覧の上 掲載しております。

たった一年前、私は医師代表として、町の会議に出席し、こんな議論の中にいた。

2008.2.29.「平成 19 年度第 2 回吉田町健康づくり推進協議会」、後悔するとすればこの頃である。この時の会議の内容を一部抜粋して下記に示す。会議の内容全文は、過去 1 年間に、4 回に亘り田村典彦町長に提示し、本人自身からの訂正を促してきたが、まったく対応無し。また、最近の何十回に及ぶ、榎原医師会吉田町担当理事の立場としての、アポイントメントにも応じない状況により、敢えて私から提示する。

怒やされ、かたや犯罪者扱いされ、それでもあの時の 100%の自分が物申ししていた。しかし、余りにも“力”不足であった。相手を説得出来ないどころか、相手は完全に上から下に見る姿勢で物申し、怒号され終っている。話の間には、仕え人による弁明、データ改竄による防御もある。しかし、真実は一つ、3 年後かと思いきや、あの時から 1 年の今、起っている。時代は本当に早回りしている。今、この榎南で起こっている医療破壊は、全国の地方で起こることであり、数年以内の現実と思われる。今を真っ当に、過去の過ちは一つひとつ訂正して、事を運ぶしかない。破壊から破滅は受け入れて、行動するしかない。

教育委員長 黒田和夫氏(黒)

黒：私も町民の一人ですから、あの加藤先生がお医者さんの立場で言われること理解できない部分もあるんです。私は大部の町民の一人で、一つ特に分らないのはね、「何故子供たちの医者代をタダにするのが悪いのか」ってのがよく分らないですよ、そこが。ていうのは、大多数のね子育てで苦勞してる人達が喜んでる実態があるのにね、先生はそれがいけないことだって、今よりそれを言いたいですね。

榎原医師会吉田町担当理事 加藤寿夫(寿)

寿：いけないっていうか、医療破壊にそれまっしぐらにそういうことが向かわせてます。

黒：だからね、医療破壊に繋がるっていうそのところがね

寿：はいはい

黒：私にはよく理解できない

寿：はいはい

黒：もし説明してくればね。それが私が納得できれば、それは医療破壊に繋がると加藤先生がおっしゃってますよって事を言います。そのとこ説明してください。

町長 田村典彦氏 (田)

田：どうぞ

寿：いいですが、時間がかかりますけども。あの今榎原病院なりの時間外の、時間外の数、この前いくつでしたっけ？夜間の外来の吉田町から 1 日に夜間の時間外にかかっている患者さんの延べ数が年間 5 千、5 千件以上でしたよね、吉田町からだけです。榎原町、牧之原そういうとこ無しにして。そういうところの医療のコンビニ化ばかり進んじやってそういう時どういふ医者に対応するかっていうと、脳外科の先生も耳鼻科の先生も順番でそういうところに対応してるわけですよ。で、その実態をみるとどうかなっていうと、どっかの小児科にかかったのにまた夜中にむこう行っちゃ、こっち行っちゃ。それタダだからそういうこと起ってるような、そうでないようなデータを町長さんこうぞみたいなもの出しますけども、実際はそういうところで、医師が、本来の仕事。やらなくちゃいけない仕事じゃないところの時間外のそういうものに、あのあまりにも時間を費やさなけりゃいかん、労力・人件費、医者の方のそういう労力がそういうところに向いちゃって、本来の仕事がなかなか十分回らなくなっちゃってるところが、まずい状況じゃないかと思うんですよ。

黒：それはね、わたしは

寿：それが行き過ぎちゃ

黒：分らないではないですよ。分らないではないですけど、しかしその事とね、タダであることと結びつけるっていうとこは納得できないですよ。

寿：それで今度どういうことになってくるかっていうと、榎原病院さんもそうですし、焼津が多分 4 月から始めるんじゃないかと思えますけども、夜中に患者さんが来た時には一律 5000 円取りますみたいな形になってっちゃう、お互いに。その前に、その前にもちょっと話し合いがあって医療のコンビニ化、ちょっとどうにかそういうことも黒田さんにも知っていたら、こんな状況になっちゃってる。だからこの前、岡野先生が言われた通りで患者さんに対しての、患者さんという一般の住民に対しての啓蒙なり今どういふことで医療破壊が進んでるんだぞってことを、黒田さんにもやっぱり知っていただいていたみたいなものをもっともっと、こんな風で榎原病院こういう風で医者が引き揚げちゃったりどうのこうのなっちゃう、こういう状況ありましたよってことを、タダにしちゃうっていう前に、こうですよってことも伝えなくちゃいけない。

黒：私はね、それは啓蒙っていうか啓蒙っていうそのものだと思ってるんですよ。そういうことあってはならないんですよということをですね、町民の皆さんに指導する。そういう事をすればいいんでね。それがタダのことと直に結びつけてことが私はよく分らない。そこが何となく分かりにくい。そういう傾向がね、あるっていうことの心配はあるけども、それはそれで別にね。例えば保健指導とかそういう中でやってけばね解消、解消とはいかないけどもね、改善できる。

寿：うん、ただタダになっちゃったことでそういうことが助長されてる。吉田町の子供は、やっぱり外のあるねえ島田・焼

津辺りでもやっぱり患者さんがタダってことになってあんまりよくないぞみたいな話は、小児科の先生達もそういうことを、かかり方がどうだぞって時にでてくる状況を助長するようなことはタダにするになって、医療のコンビニ化をどんどんどんどん助長するような状況になってるのは事実なんです。それを、それをだけども何の相談、榊原病院とも、町長さんもあんまり榊原病院の院長先生と、もうちょっと話してよって、僕が個人的にはお話をさせていただいたりしてる。そういうこと無しにそんじや医療タダにしちゃえば、タダにするって事に関しては、それこそ住民受けがいいだろう、住民受けていうか、町の一般の人はタダって聞いた時にはいいと思いますけども、それであの完全に医療破壊はそういうところから進んでる事は事実なんで、それはやっぱり一般の人にも分かってもらって、啓蒙だけじゃどうにもならないんで、今度どうするかっていったら榊原病院も多分 7 月位から 5000 円一律取るよみたいな話になると、そういう話がこの前、大川先生からも町長さんにも、ちょっとどうだぞって話、出たと思うんですけども

黒：これだけで時間とるとね

寿：はいはい、すいません

黒：だから私はね、知ってるとか知らないと、それはまた別の問題だと思うんですよ。別の問題だと思うんです。そうじゃなくてね、タダにしたからってね、直にそういう風に結びつく考え方がね、私にはあんまりよく理解できないんですよ。現に助かってる人も大勢いるわけだね。

寿：うん

黒：それ、受けがいいとか、そういうことと結びつけない方が私はいいと思うんですけどもね。

寿：タダにしたことでだけどもやっぱり、こんだけ吉田町まあ茂庭先生が言われるには、吉田町の患者さんの数、あのうちの康寿診報にも書いてありますけども、またじっくり読んでいただくと思いますけども、吉田町と旧榊原町と人口大体同じくらいですよ。それで、榊原病院は榊原にありますよね。だけども吉田町の子供が無料ですよってことで、榊原病院の時間外にかかる数が榊原町の大体 1.5 倍あるってのは事実なんです。だから、そこら辺で、夜中にだけども 5 千人でことは、360 日診療日があって、吉田町だけで十何人、夜間に患者さんが来る

田：先生、ちょっとその数字ウソなんで、ちょっとやってください、

寿：この前見せていただいたの 5 千何百人

田：ウソは困ります

：前日の、これあの

寿：全部で 5 千...

健康づくり課 課長 杉村勝巳氏(杉)

杉：牧之原市と、最近あの牧之原市の方もいただいたんですけども、小児科の 16 年度から 18 年度の吉田町年齢別小児科外来患者数の延べ数というので調べて頂きました。牧之原市についても同じですが、それとあと救急ですね。救急科患者数、まあ時間外の事になると思うんですけども、その実際の数値は無いということです。あくまでも推測して患者数が吉田町のということではなくて、救急の方についてはどの地域がというあれはなく、受け入れた小児科の救急患者数ということでしか載っておりません。受診者のようにするに外来の患者数の調べの中には、吉田町ということで人数出てきますが、救急については、実際平成 18 年度ですね、4096 という数字が出ているんですけども、これについても合計、入院と外来の合計ですが、16 年度が 5469、17 年度が 4606、18 年度が 4095、入院外来の合計数で、結局あの減少しているということ、吉田町が 18 年度に完全無料化、19 年度に小学生まで無料化したのがこれに数字として表れているとは言えないということでございます。ですから、他の市・町へ流れているのもあるかもしれませんが、あと個人の診療所そういうところが増えている可能性はありますけども、はっきりそういった、あの吉田町がっていうあれは言えないということで榊原病院の方から報告を受けております。これは、医事課の数字を調べていただいたものを経理課の方で数字として表れて、私のとこにいただいた資料でございます。

田：先生、医者という身分の方が、そのようなことを言われるとデマが広がりますので、発言には気を付けて

寿：今もう一ついいですか？

田：先生、発言には気を付けていただきたい。

寿：あの、はい？

田：今、自分であの謝罪してください。デマですから。医者という身分の方が、全然違った数字を言われると、人はどういう風に受け取るかということです。謝罪して下さいよ、先生。

寿：ちょっと待って下さい。ただね、だけど啓蒙という点で、これ一つこれは新聞に載ってるものですけども、中日新聞これ、あの皆さんに以前の会だったか、その前の保健協議会だったかでお配りしたと思うんですけども、入院患者さん、研究会によると 2007 年の 10 月の 31 日の中日新聞です。そういう状況だっただけ分かっていただきたい。「救急患者さんの内、入院が必要だったのは島田の市民病院では 16%、焼津の市民病院では 14%、藤枝市立病院では 18%、それに対して榊原病院は 11%だった」と、11%。だからそれだけ時間外に、あのまあ本当に時間外でかかるべきかどうかっていうこと、これ数字に表れてる。これは吉田町・榊原地区の状況だということ、分かっていただいて、それが 1.5 倍って数字に関しては、それはどこから取ってきてるかっていいますと、医師会の役員会が理事会の時に茂庭先生が、大体これぐらいの数字でこうですよってことでゴロツと言われたことを取り上げてきてます。間違っていれば、私謝罪しますけども、もう一度茂庭先生なりに確かめて、榊原病院さんそういうデータがある程度きちっと出そうと思えばもうちょっと正確に出せると思うんで、それまた医師会の方からもお願いするようにしますんでよろしく願います。じゃ、そんでいいですかね。

黒：先程の加藤先生のお話についてね、加藤さんは吉田は際立ってそういう人が多いっていうお話をなされたもんだから、それを元にお話したもんだからね、をれを私崩れるとするとね私は何の為に話しをしたのか分なくなっちゃうんですけども、

寿：うん

黒：だから、そういう傾向がまあ、先生がそう言われるもんだから、あるかもしれないって前提でお話したわけですよ。この所ご理解いただきたい。

P.2,3 は、吉田町長 田村典彦氏、教育委員長 黒田和夫氏、前健康づくり課 課長 杉村勝巳氏に閲覧の上 掲載しております。

## 《勉強会のご案内》

通常の勉強会は原則第 3 土曜日 13:00 から開催です。

5 月 16 日(土)	運動療法について
6 月 13 日(土)	インソール療法について
7 月 11 日(土)	糖尿病とは
8 月 8 日(土)	薬物療法について
9 月 12 日(土)	低血糖について
10 月 3 日(土)	第 79 回 睦会

## 《診療案内》

診療時間	月	火	水	木	金	土
8 時～12 時						
15 時～18 時						

「朝の挨拶」の為 一般診療開始は 8:15 からです。  
 午後の受付は 初診は 17:30 まで 再診は 17:45 まで です。  
 休診日:日曜・祝日 木・土曜の午後 月末最終日の午後  
 受付最終時間 厳守 とさせていただきます。

糖尿病集中勉強会を 5/5,6,24 の 9:00~12:00 にて開催します。ビデオ・DVD 学習会の後 医師・看護師・栄養士が質問に答え 対応します。希望される方は、職員まで申し付け下さい。

ビデオ・DVD 学習会は、別紙予定表にて診療日の午前・午後開催しております。個人の希望にも随時応じております。

「第 78 回睦会」は、焼津市立病院 井村清男先生の講演いただく予定でしたが、当日 糖尿病学会東海地方会(名古屋で開催)の司会役の為 次回「第 79 回睦会」10/3(土)予定に先送りさせていただきます。御期待下さい。

## 《アカデミ-賞受賞「おくりびと」上映会のお知らせ》

5 月の当番医の日、5/ 5(火), 6(水) の 15:00 より

5/ 24(日) の 12:30 より

アカデミ-賞受賞「おくりびと」の上映会を行います。

日本人の死生感、文化を考える上で、大変参考になる内容と思われれます。ぜひ一度 ご覧下さい。



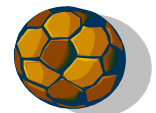
## 《「Jリーグ ジュビロ磐田 テレビ観戦会(第 7 回)」お知らせ》

5 月の当番医の日、5/ 24(日) 15:00 キックオフ

2009 J.LEAGUE DIVISION 第 13 節

**ジュビロ磐田 vs 名古屋グレイプス**

会場: 本院 2 階 講話室



## 《「チャオ御岳」スノーリゾートツアーのご案内》

御岳山の麓で、残雪と戯れ・語り合いませんか!! 下記の日程にて、今シーズン最終のツアーを企画しました。ぜひ参加してください。

チャオ御岳は 4/30 現在 積雪 120cm



第 回 5/3(日) 4(月)

第 回 5/9(土) 10(日)

夏スキーで知られる月山スキー場は 4/10 オープンしました。

: 日和田ロッジ泊 ¥4,000

リフト券 1 日券 ¥3,000 [大人] 車代: ¥3,000

- ・夕食・朝食の食事代込みの料金、飲み放題です。
- ・スキー・スノーボードをされない 観光目的の方等、宿泊のみの方も歓迎します。
- ・小学生以下の子供さんの宿泊は半額、リフト券は無料です。詳細については職員までお問い合わせください、リゾート・宿泊・日程につきお話しします。

## 《当番医のお知らせ》

5/ 5(火)・ 6(水) , 24(日) 休日当番医にて診療します。

映画上映会・Jリーグ ジュビロ磐田 テレビ観戦会・「第 78 回睦会」DVD 反省会予定しております、ぜひ参加して下さい。(「第 78 回睦会」アンケート よろしく願います。)

## 《臨時休診のお知らせ》 お薬を切らさないようにお気をつけ下さい。

5/9(土) , 5/27(水) ~ 6/1(月)は休診です。